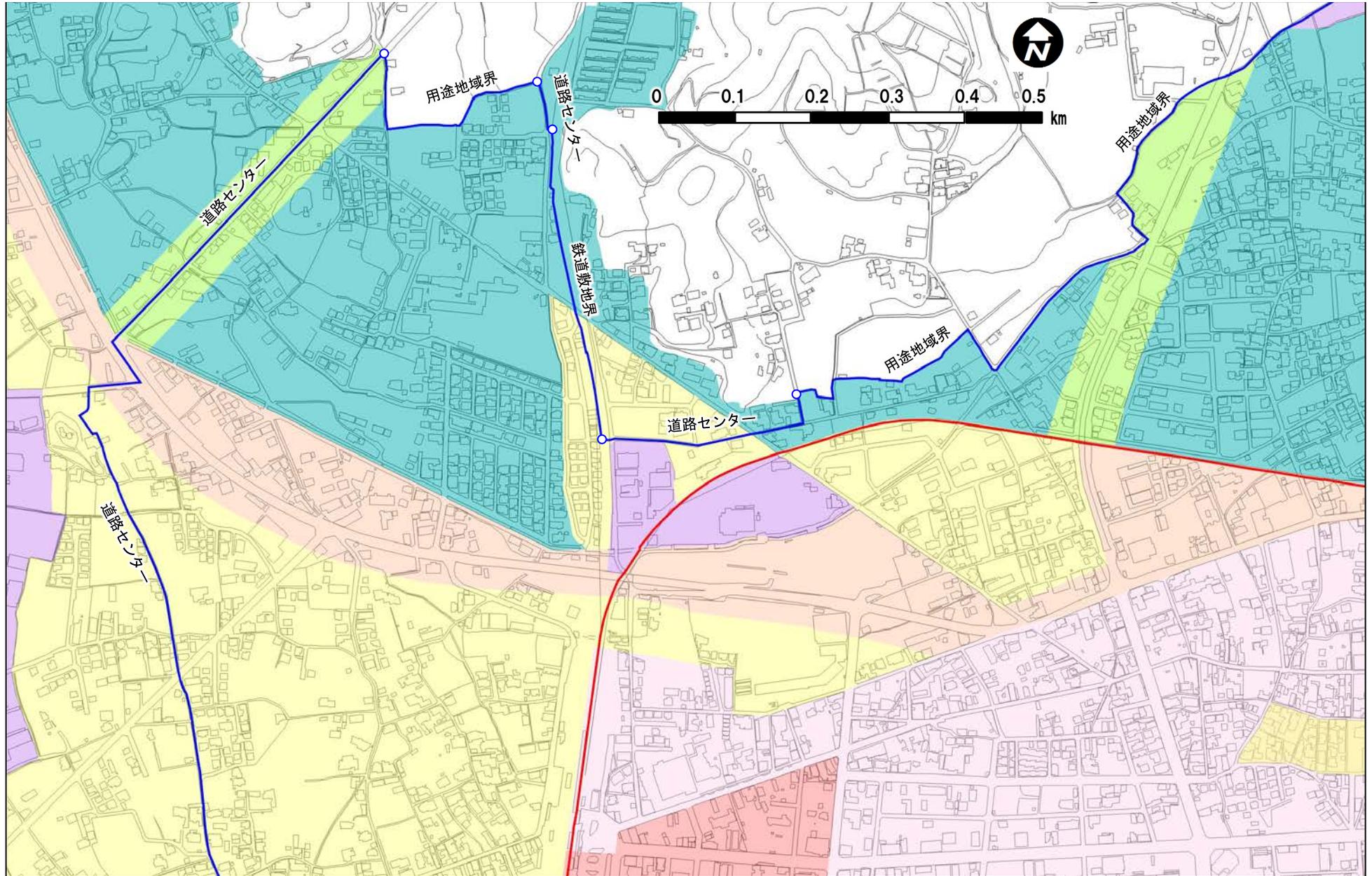
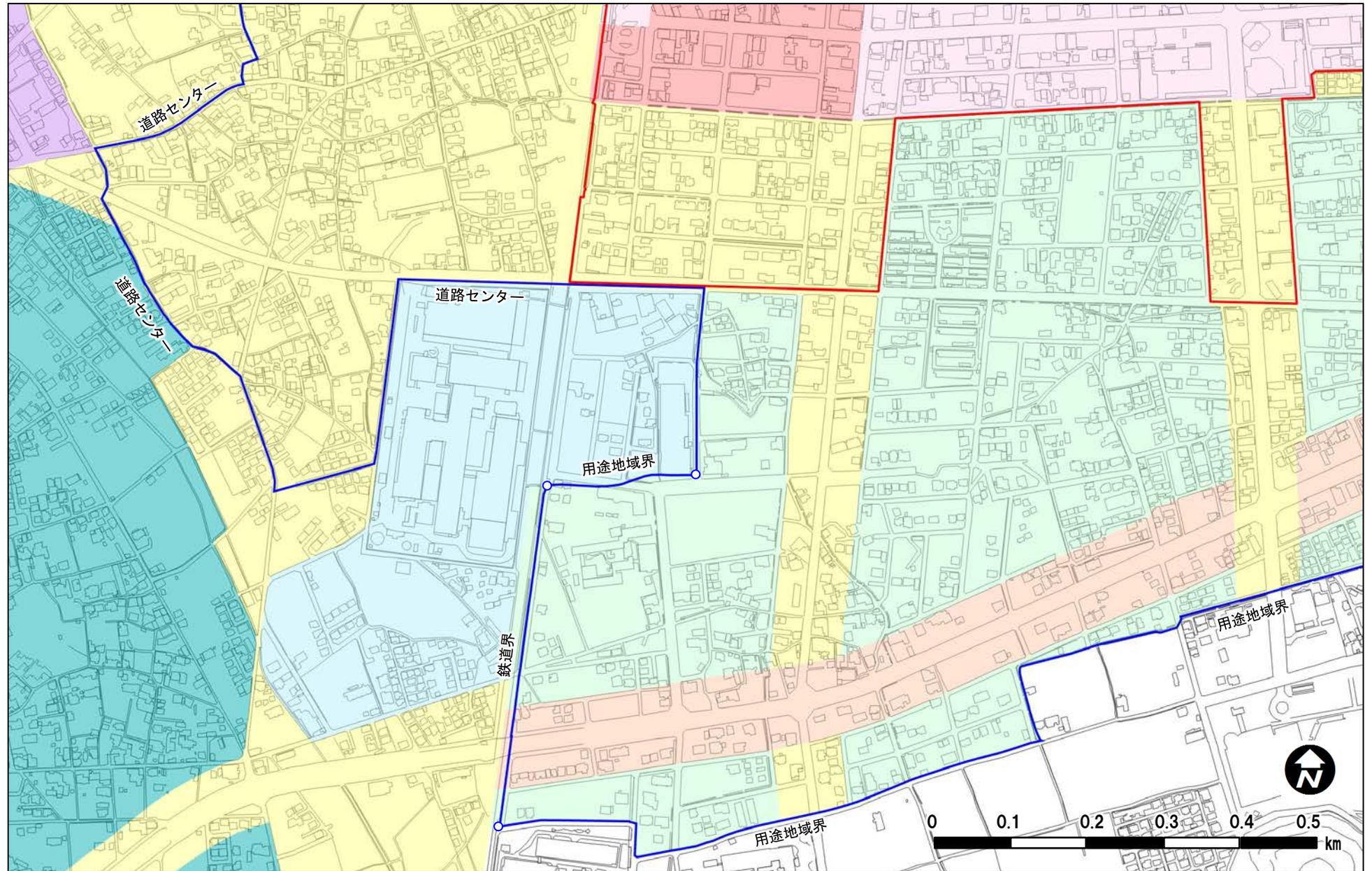


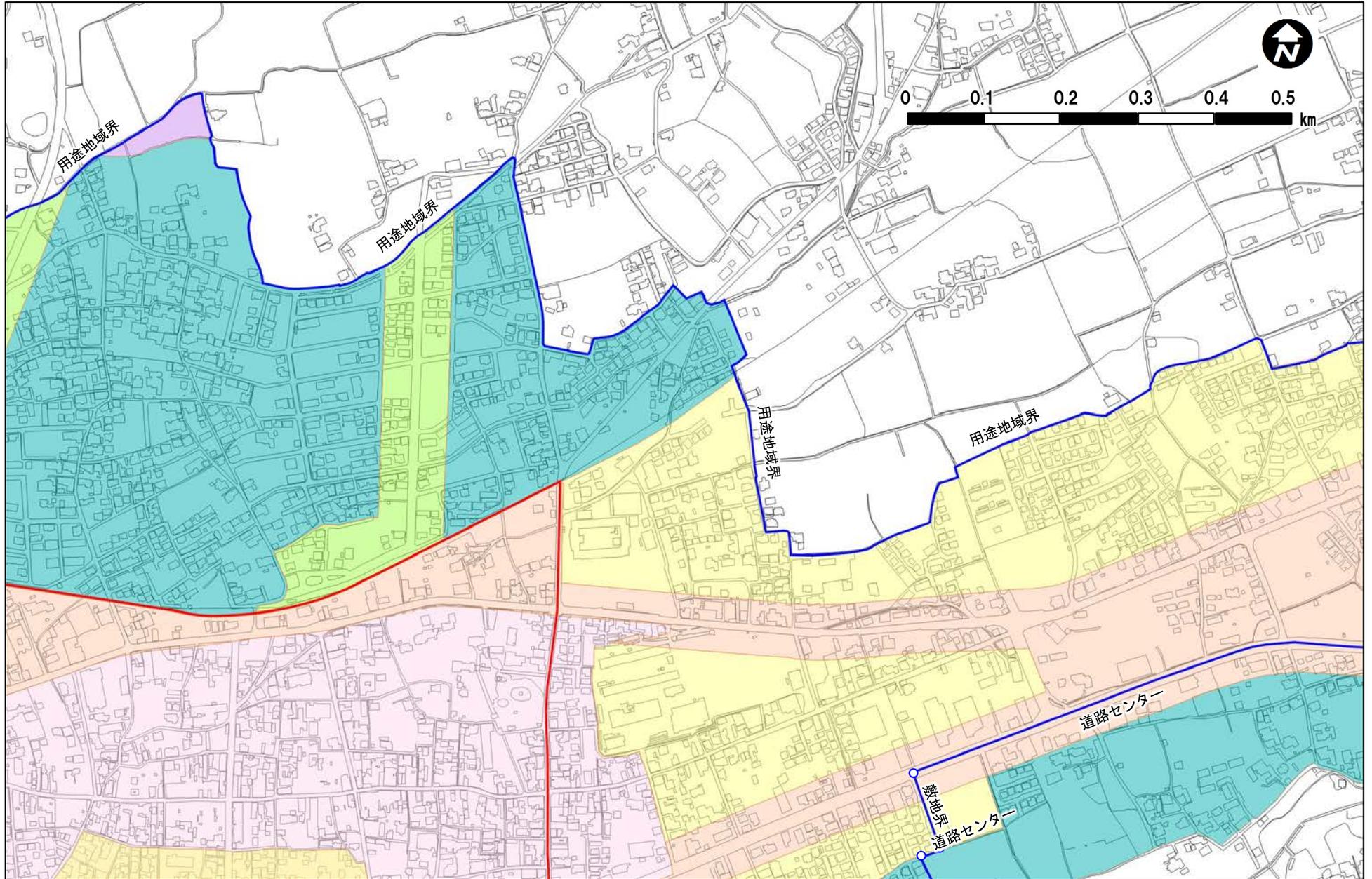
居住誘導区域の設定（詳細）



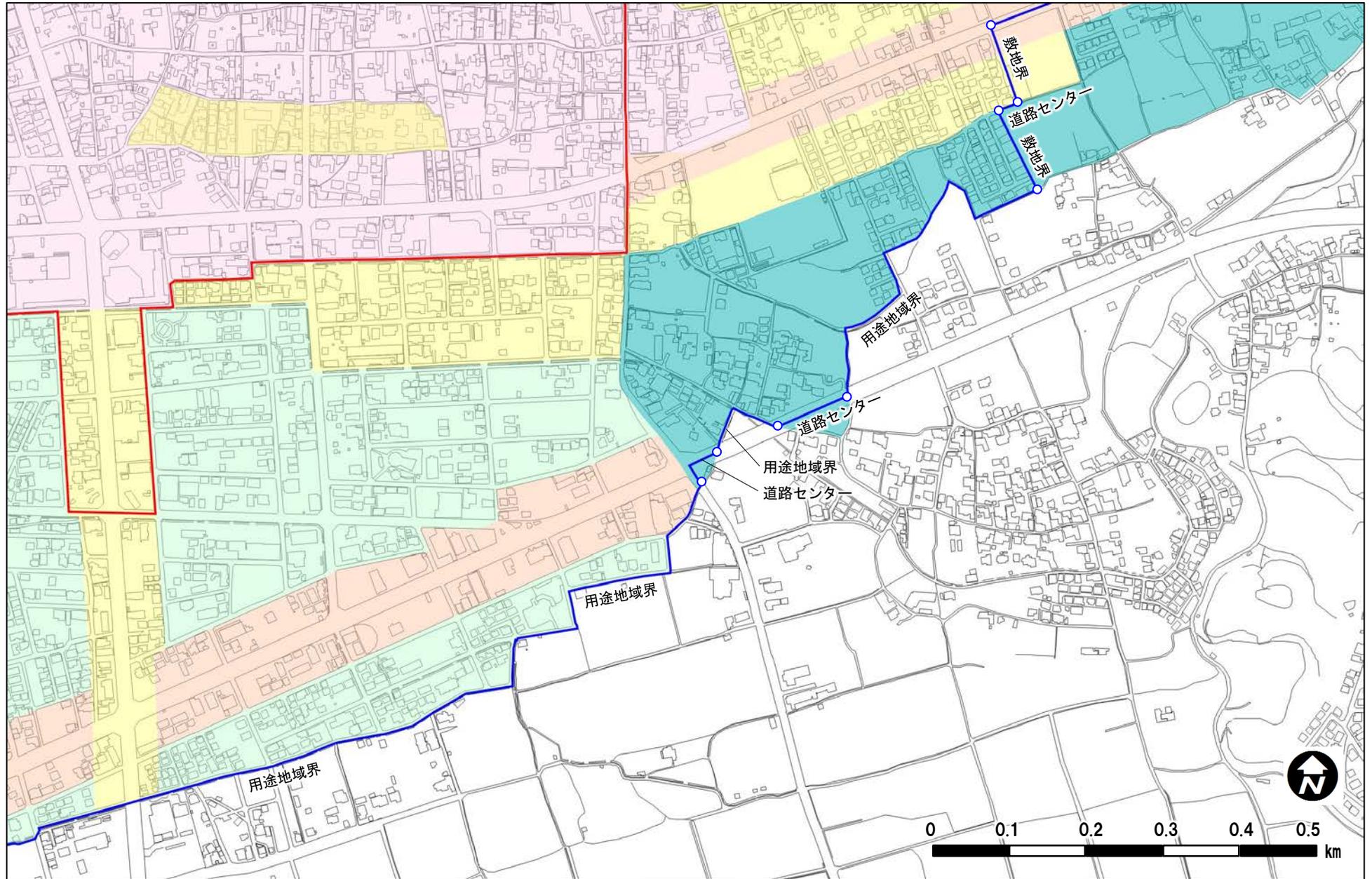
居住誘導区域の設定（詳細）



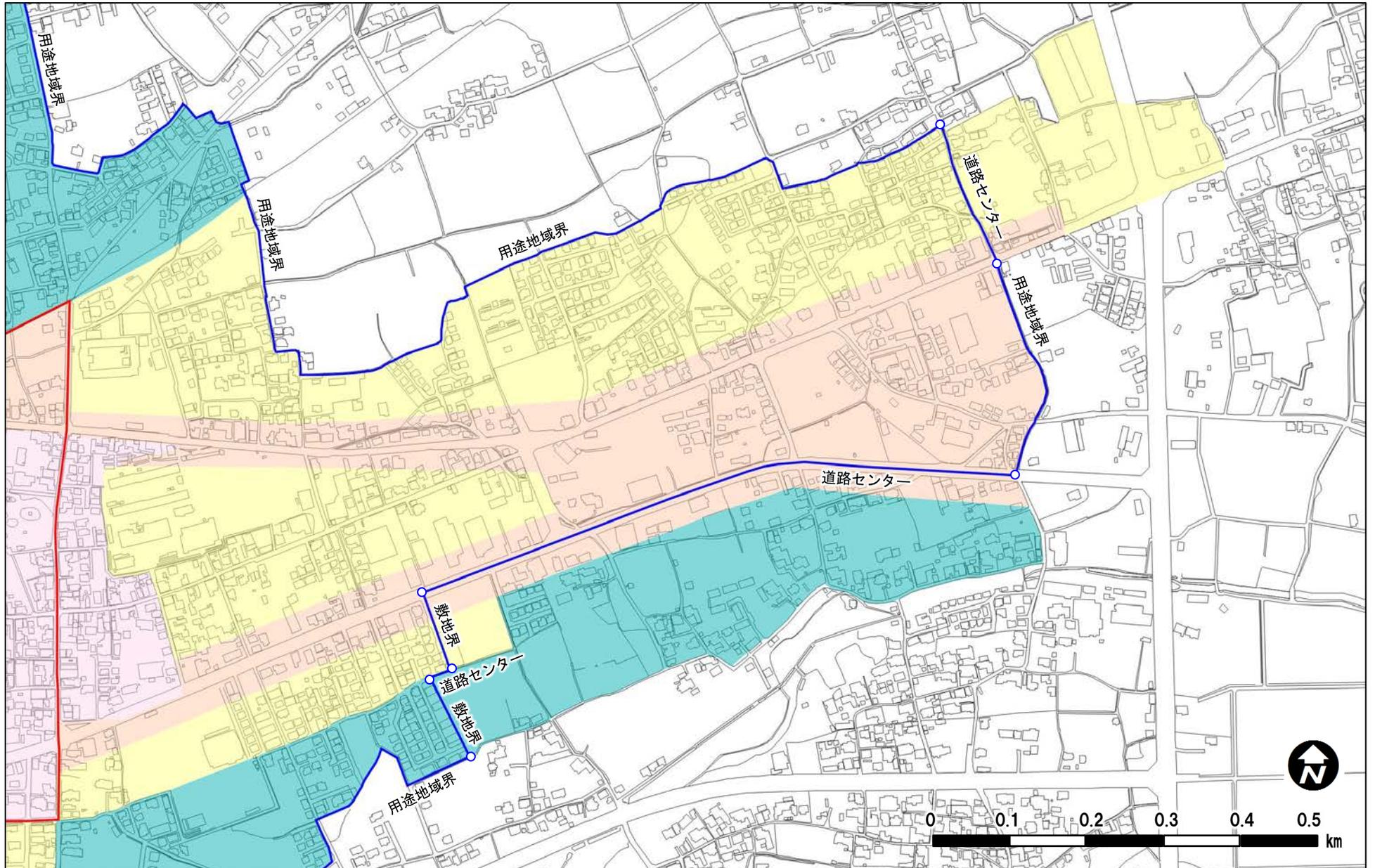
居住誘導区域の設定（詳細）



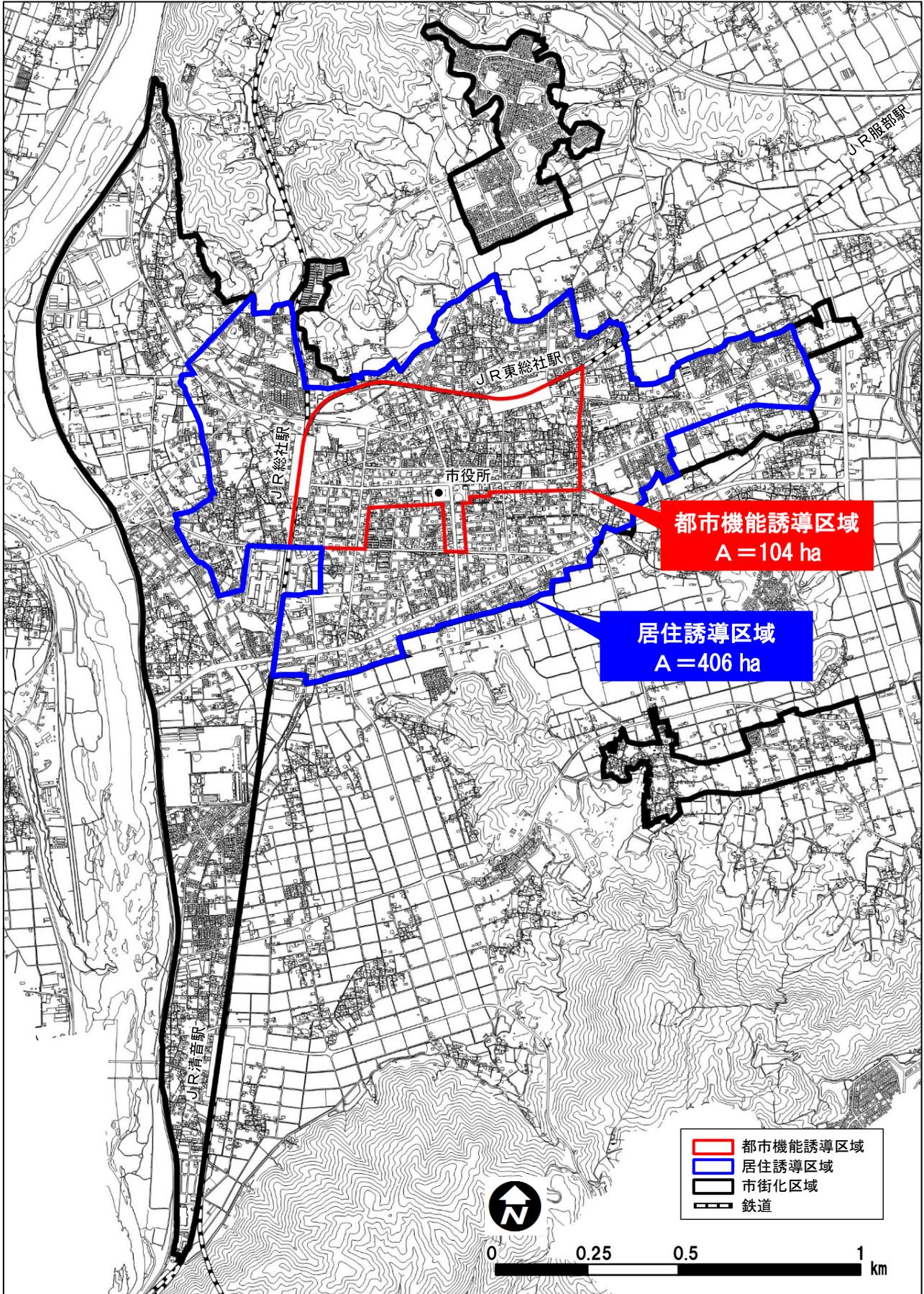
# 居住誘導区域の設定（詳細）



# 居住誘導区域の設定（詳細）



# 居住誘導区域の設定



## 5) 居住誘導区域の適正規模の検証

2010年における居住誘導区域内の人口密度は44.3人/haとなっていますが、2040年には、41.2人/haになると推計されています。人口減少下においても一定の生活サービス機能を有する利便性の高い市街地環境を維持するためには、現在の人口密度を将来においても維持していく必要があります。

2040年時点において、現在の居住誘導区域内人口密度を維持するには、居住誘導区域内の人口を国立社会保障・人口問題研究所の推計よりも1,255人増やすことになり、これは居住誘導区域外に居住する人口(37,679人)の約3.3%程度に相当します。

このような推計結果や市街地中心部(商業系用途地域や土地区画整理事業が施行された第2種中高層住居専用地域)の人口が2010年よりも増加している実態等から、将来における居住誘導区域内の人口密度の維持は、現実的である考えられます。

本計画では誘導施策の展開による転出人口の抑制や区域外から区域内への居住誘導の推進等を図ることで、この目標を目指していくものとします。

	人口	人口密度
2010(H22)年	17,984人	44.3人/ha
2040年	16,729人	41.2人/ha
増減数	-1,255人	-3.1人/ha

※居住誘導区域の面積は約406ha

	居住誘導区域	居住誘導区域外	全市人口
2010(H22)年 (国勢調査)	17,984人 (27.2%)	48,217人 (72.8%)	66,201人 (100.0%)
2040年 (国立社会保障・人口問題研究所)	16,729人 (30.7%)	37,679人 (69.3%)	54,408人 (100.0%)
2040年 (立地適正化による目標)	17,984人 (33.1%)	36,424人 (66.9%)	54,408人 (100.0%)

①を実現するため、居住誘導区域からの転出を抑制するほか、居住誘導区域外から居住を誘導(1,255人)

### 居住誘導区域の適性規模の検証

